🕮 図書館だより Ｙぶらりー 🕮 横浜商業高等学校 2024年度 第１号

芽吹いた若葉の美しさに心が洗われる季節となりました。鎌倉・逗子・葉山・横須賀・三浦エリアのハイキングルートがたくさん紹介された『湘南ハイク』山と渓谷社（291 ヤ） は、散歩では物足りない元気な高校生にぴったりのハイキングガイドブックです。散歩以上、登山未満で、山や海、神社仏閣や温泉、おしゃれなカフェやパン屋さんなど、爽やかな１日が過ごせるルートが紹介されています。　　司　書

🕮　2024本屋大賞　決定！　🕮

2024 年本屋大賞は宮島未奈『成瀬は天下を取りに行く』(913.6 ミ）に決まりました。滋賀県に住む主人公の成瀬あかりは、Ｙ 校では見かけないほどの、まったくもって周りの目を気にせずに自分のペースで生きている女の子です。新クラスでのキャラ設定に不安を抱えている生徒には、ぜひ読んでもらいたい本です。

滋賀県の実在する学校や駅、かつてあったデパートなどが出てくるので、滋賀県にゆかりのある方は、より楽しめるようです。続編の『成瀬は信じた道をいく』(913.6 ミ）を読むと、一冊目の後半のモヤモヤが晴れるので、ぜひ続けて読むことをおすすめします。この本は耳からも楽しめるオーディオブックにもなっていて、副校長の山内先生の教え子が声優として活躍しているそうです。山内先生からのメッセージを掲載します。

紙でも音声でも楽しめる読書

私は国語科ということもあり、直木賞や本屋大賞などを受賞した話題作はいつも気にしています。『成瀬は天下を取りに行く』も気になっていて、「今読んでいる本が読み終わったら･･･」と思っていたところ、オーディオブックでも配信されることを知りました。しかも、主人公の成瀬あかりの声を、中学生の頃 私が担任していた教え子が務めるとのこと。すぐにアプリをダウンロードし聴きました。

読書は専ら紙媒体の本で、オーディオブックは初めての経験だったのですが、声優さんの朗読はもちろんのこと、効果音や BGM も工夫されていて新鮮な読書体験でした。特に作中に登場する江州音頭は、実際の音源を使っているそうで、紙媒体以上に小説の世界をリアルに感じることができます。

続編の『成瀬は信じた道を行く』は紙の本で読んでいます。紙は紙で自分のペースで読み進められたり、状況など直接描かれていないところを自分の想像で補ったりする良さも感じています。

日々忙しく読書の時間が取れない人にとっては、オーディオブックで「ながら読書」を楽しむなど、紙でも音声でも読書を楽しめるおすすめの一冊です。

副校長　山内裕介

🕮　部活動を（本でも）楽しもう！　🕮

Ｙ 校にはボート部や弓道部など、他ではなかなか体験できない部活動もあります。そんな非日常と思える世界が日常的にあるのはどんな感じなのか、自分で体験できなくても、本を読んだら少しわかってスッキリするかもしれません



○濱野京子『レガッタ！水をつかむ』(913.6 ハ）

ボート部がテーマの小説です。もちろんフィクションなのですが、ストイックな部員の姿勢はＹ校のボート部員にも通じるところがありそうです。この本を読んで、ボート用語が理解できるようになりました。

『レガッタ！2　風をおこす』『レガッタ！3　光をのぞむ』もあります。

○円山夢久『チア☆ダン「女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話」の真実』（781 マ）

タイトル通りのノンフィクション作品です。部活動が人生を変える様子を目の当たりにして心が震えます。

○加藤シゲアキ『オルタネート』（913.6 カ）

NEWS の加藤シゲアキが描く高校生活に出てくるのは「オルタネート」という架空の高校生限定 SNS アプリを通した人間関係を描く話で、主人公は調理部や園芸部の部員です。2021 年高校生直木賞を受賞しています。

○佐藤多佳子『一瞬の風になれ　第一部　イチニツイテ』（913.6 サ）

部活動小説といえばこの本、と言われるような、陸上部員でなくても胸が熱くなる小説です。三ツ沢や大和など、陸上部には馴染み深いグラウンドが出てきます。『一瞬の風になれ　第二部　ヨウイ』『一瞬の風になれ　第三部　ドン』まで一気にどうぞ。

○早見和真『ひゃくはち』（913.6 ハ）

ひとむかし前の、甲子園を目指す野球部が舞台の小説です。ただただ野球が好きな人たちの青春を感じられます。現実の野球部は、もしかしたらもっとドラマチックなのかも？

○辻秀一『スラムダンク勝利学』（780 ツ）

バスケットボール部ではない人にも、スラムダンクはテレビも映画もマンガも見たことないという人にも、高校生にも大人にも、勝つために背中を押してほしいすべての人におすすめします。

○伊与原新『宙わたる教室』（913.6 イ）

Y 校の自然科学部もポスター発表などで素晴らしい成果を上げていますが、こちらの本では、定時制高校のさまざまな事情を抱えた生徒たちが、科学部の活動を通して絆を深め、学会での発表を目指します。あとがきによれば、この本のモデルになった定時制の高校が大阪にあって、発表のテーマも「重力可変装置で火星表層の水の流れを解析する」という、小説と近い内容だったことに驚きました。

○梅津有希子『ブラバン甲子園大研究』（764 ウ）

実はこの本のタイトルの「ブラバン甲子園」の前に、「高校野球を１００倍楽しむ」という言葉が入っていて、吹奏楽の甲子園的なコンクールなどの話ではなく、高校野球の応援での吹奏楽部の裏話などが詰まった本です。応援歌に昔の歌謡曲やアニメソングが多い理由や、スタンドでの暑さ対策、オリジナル曲を作る学校の苦労話など、野球応援のブラバンにこだわった本で、これを読むと確かに高校野球を見る楽しみが少し増えそうです。



🕮　今月のおすすめ本　🕮

○ 岡根谷 実里『世界の食卓から社会が見える』（383 オ）

世界中の一般家庭に長期間滞在しながら台所で一緒に料理をし、そこから見えてきた暮らしや家庭の様子だけでなく、政治や環境問題、歴史などが広い視点で書かれた奥の深い本です。「世界一おいしい社会科の教科書を作りたい」という著者の思いがそのまま伝わってくる美味しいものの話はもちろんのこと、宗教問題や社会問題にも触れており、いろいろな切り口から世界の食を見ることができます。不殺生を徹底している日本に住むジャイナ教の方のもとでのご飯の話や、世界のどこでも朝食がパンやシリアルという話など、興味深い話ばかりです。

春休みに、著者の岡根谷実里さんの講演に行きました。パワフルに世界を駆け回る本の内容からは想像できないほど小柄で可愛らしく、でもどこか台所探検家らしくたくましいところも垣間見える元気な女性でした。東京大学の工学系の大学院時代に途上国のインフラ整備に携わったものの、思いのほか現地の人々に喜ばれず、それでも一緒に食卓を囲む時間は笑顔にあふれていたことが印象的だったという思いが、食に関わる仕事についたきっかけだったそうです。視野が広がる、読み応えのある本ですのでぜひ手に取ってください。

～図書委員会からのお知らせ～

今年度の図書委員会のポスターができました。

図書館で、あなただけの本を追いかけてみませんか？







Y校アーカイブ　vol. 24　「そろばん」

商業棟の2階の商業研究室入り口前に、昭和23年度Y校卒業生のご遺族からY校同窓会へ寄贈された「そろばん」が展示されています。 明治時代に使われていた旅枕そろばんは、箱根の寄木細工で作られた小箱の中に、そろばんだけでなく、ランプのような行灯（あんどん）も収められ、上部には枕になるようクッションがついています。Y校百周年記念で作られた100桁のそろばんの長さは140cm近くありました。他にも翡翠（ひすい）で作られたずっしり重みのあるそろばん、目の不自由な方のための、珠ではなく木札で作られた視覚障害者用そろばん、中国やロシアのそろばんや、そろばん店の看板などが展示されています。



図書館には明治11年の「新選珠算精法」や、昭和12年の「珠算能力検定試験標準問題集」の、先生向け（御審査用）の印が捺されたものや、昭和14年の横濱商工會議所主催「第一回商業實務検定試験 珠算問題集」、昭和2年「珠算界之友」などが所蔵されています。





